

令和4年度第1回八王子市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日	時	令和4年5月18日(水) 14:00~16:00
場	所	八王子労政会館 第1会議室
議	事	<p>議 事</p> <p>(1) 規約改正について</p> <p>(2) 令和3年度事業報告について</p> <p>(3) 令和4年度事業計画(案)について</p> <p>(4) 打越町旭ヶ丘団地乗合タクシー事業の運行時間帯の変更について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) はちバス専門分科会の検討状況について</p> <p>(2) 令和3年度はちバス事業報告</p> <p>(3) 事業者からの報告(各事業者)</p>

●議事

(1)規約改正について

【事務局説明】

- ・ 八王子市地域公共交通活性化協議会規約の改正内容について、事務局より説明を行った。

【主な意見、質疑】

意見なし

(2)令和3年度事業報告について

【事務局説明】

- ・ 令和3年度事業報告を事務局より行った。

【主な意見、質疑】

意見なし

(3)令和4年度事業計画(案)について

【事務局説明】

- ・ 令和4年度事業計画(案)について、事務局より説明を行った。

【主な意見、質疑】

(委員)

- ・ 資料2を見ると、高尾紅葉台の地域交通事業の自治会負担金が1千万円近くになっているが、事業の存続の危機に対して市としてどのような対応を行うのか。

⇒(事務局)

- ・ 資料「高尾紅葉台自治会循環バスの事業概要について」のとおり、高尾紅葉台自治会循環バスは平成28年3月から完全に自立した運行を行っていた。新型コロナウイルスの影響で一時的に利用者が減少したことへの対応として、令和2年10月に緊急支援金を支出し、令和3年度より補助金交付を再開した。また、高齢化の影響で通勤による利用者が減少していることについては、市も相談を受けているところであるが、地元がその対応を検討しているところである。

⇒(委員)

- ・ 収支については改善されるのだろうか。

⇒(事務局)

- ・ 現時点での決定事項はないが、地元において、利用促進に向けた今後の事業の計画を協議・検討しているところである。

(4)打越町旭ヶ丘団地乗合タクシー事業の運行時間帯の変更について

【事務局説明】

- ・打越町旭ヶ丘団地乗合タクシー事業の運行時間帯の変更について事務局より説明を行った。

【主な意見、質疑】

(委員)

- ・アンケートの回答により運行時間帯を変更するとのことだが、アンケートとは利用者へのアンケートということではよいか。

⇒(事務局)

- ・乗合タクシーの会員約 200 名を対象としたアンケートである。

⇒(委員)

- ・運行時間帯を変更することを会員に周知徹底する手段は考えているのか。

⇒(事務局)

- ・地元の運営委員会において、回覧や個別に印刷物を配布することなどを検討している。

⇒(委員)

- ・高齢者の利用が多いため、事業範囲を広げることにより利用者の増加に繋がると考えているが、利用者拡大のための対策は検討しているのか。

⇒(事務局)

- ・旭ヶ丘団地の自治会員だけでなく、近隣の地域の方も一部会員になっているが、さらなる利用促進のために、今後も会員を増やす方向で地元の運営委員会において協議・検討を進めている。

(委員)

- ・資料 3 の地域負担額の 432,657 円は、運賃収入と事業者負担が分けられていない。この地域負担額のうち、運賃収入はどれぐらいなのか、そして地域として負担する額はどれぐらいなのか。

⇒(事務局)

- ・現在は計画段階であるため断定できないが、地域負担分の大半が運賃収入で賄われる計画である。

(会長)

- ・市内には坂道に住む高齢者が多いため、今後の交通の在り方を検討する中で旭ヶ丘団地のケースがモデルになる可能性も感じる。今後も育てていくことができたらと考える。

●報告事項

(1)はちバス専門分科会の検討状況について

【事務局説明】

- ・はちバス専門分科会の検討状況について、事務局より説明を行った。

【主な意見、質疑】

(委員)

- ・八王子市と他市を比較すると、八王子市は人口が多いが利用者が他市に比べて非常に少ない。利用者を増やすために現在検討中かと思うが、今後改善の余地はあるのか。

⇒(事務局)

- ・現在行っている調査に加え、公共施設、商業施設、病院などのデータも集めた中でどのようなコースで運行するべきか、どうすれば利用者が増加するかを考えていきたい。例えば、現在運行間隔が

2 時間に 1 本となっているところを 1 時間に 1 本に変更するといった方法により利用者を増やすことを検討している。

(会長)

- ・検討分科会の中でも問題提起しているが、はちバスのコースを変更することや、地域が支える仕組みづくりをしていくことが課題である。今後はちバスは、地域交通事業との整合が課題になるため、そこを見据えながら地域全体の交通の在り方を考える必要がある。

(2) 令和 3 年度はちバス事業報告

【事務局説明】

- ・令和 3 年度はちバス事業報告について、事務局より説明を行った。

【主な意見、質疑】

(会長)

- ・資料 5 の乗車人員の状況、収支率の状況、利用者 1 人あたりの補助額を見ると、都市圏の状況とは思えず、過疎地域の状況と似ているように感じる。このような状況に対し、何らかの解決策を考えるべきである。今後も検討分科会で議論を進めていくため、注視していただきたい。

(3) 事業者からの報告

【事業者説明】

- ・京王電鉄バス、西東京バスより説明を行った。

➤ 京王電鉄バス

- ・2022 年春季からのダイヤ改正の概要について説明を行った。

➤ 西東京バス

- ・2022 年春季からのダイヤ改正の概要について説明を行った。
- ・スマホ乗車券「にしちゅんパスポート 65」の概要について説明を行った。

【主な意見、質疑】

意見なし

●その他

【福祉部長説明】

- ・NPO 法人八王子視覚障害者福祉協会からの要望書の内容を説明した。

【事務局説明】

- ・八王子市タクシー合同営業運営委員会 下田会長からの回答を代読した。

【福祉部長】

- ・回答内容を NPO 法人八王子視覚障害者福祉協会にお伝えする。

【主な意見、質疑】

意見なし

●その他意見、質疑

(委員)

- ・長房団地經由城山手路線のバスについて、城山手の住宅から乗車してくる乗客が多く、長房団地で乗車するにはすでに混雑している状況である。混雑緩和に向けた対策を検討願いたい。

⇒(事業者)

・長房団地城山手路線については、コロナ感染拡大の影響や沿線のご利用者の高齢化の影響から、利用が減少している状況である。2020年度は4割減、2021年度は3割減、今年度は2割減で非常に厳しい経営状況である。そういった中で、長房団地城山手路線においては減便等せずに、西八王子駅行、八王子駅行合わせると10分に1本という間隔で運行できており、車内混雑についてはかなり解消されているのではなかろうか、という状況だとは思いますが、ご指摘いただいた状況を踏まえると、今後、ダイヤの作成等、検討させていただきたいと思う。

●今後のスケジュールについて

・次回の「地域公共交通活性化協議会」については、日程や場所等はまだ決まっていないため、決まり次第別途通知する。

以上